初心者におすすめの犬種10選！飼い方やしつけのコツもわかりやすく解説



「犬を飼いたいけれど、初心者に適した犬種はどれだろう？」「自分のライフスタイルに合った犬が知りたい！」そんな悩みをお持ちではありませんか？この記事では、これらの疑問を解決します。

本記事で得られること

1. 初心者でも飼いやすい犬種10選を具体的に紹介します。
2. 飼いやすい犬を選ぶためのポイントが分かります。
3. 快適な犬との生活を始めるための準備やしつけのコツを解説します。

本記事の信頼性

執筆者はこれまでに3種類の犬を35年間飼育してきた経験を持つため、実際の飼い主目線でのアドバイスが可能です。初心者でも無理なく犬を迎え入れ、愛情あふれる生活を送るための情報をお届けします。

この記事を読めば、初心者でも飼いやすい犬種の特徴や選び方、飼育環境の整え方が分かり、不安を解消してスムーズに犬との生活を始める準備が整います。最後まで読んで、愛犬との楽しい生活をスタートさせましょう！

飼いやすい犬とは？その定義と基礎知識

- 「飼いやすさ」の基準とは？
- 初心者に適した犬種の特徴

飼いやすい犬を選ぶためのポイント
- 気性や性格
- お手入れの手間
- 散歩などの必要な運動量
- 吠えにくさ、声のボリューム
- しつけのしやすさ
- 費用面や病気のリスク
- 留守番に対する得意不得意

初心者向けにおすすめの飼いやすい犬種10選
- トイプードル
- ミニチュアダックスフンド
- チワワ
- ヨークシャーテリア
- ポメラニアン
- マルチーズ
- パグ
- キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル
- シーズー
- フレンチブルドッグ

初心者に適した飼育環境の作り方
- 室内で飼いやすい条件
- 必要なアイテムの準備
- 犬の居場所やケージの設置ポイント
- 危険物の片付けと安全対策

初心者でもできる犬のしつけのコツ
- 子犬期の社会化をしっかり行う
- 褒めながらのしつけ方法
- トイレや無駄吠え対策
- 留守番を上手にさせるコツ
- 過剰な甘やかしを避けるコツ

室内犬のための快適なお部屋作り
- 適切な温度・湿度管理
- 滑り防止のマットや柵の活用
- 散歩後のケア方法

飼いやすさに関するよくある質問
- メスとオス、どちらが飼いやすい？
- 大型犬と小型犬、どちらが初心者向き？
- 動物病院の利用ポイント

楽しい犬との生活を始めるためのアドバイス

今回は、初心者向けの飼いやすい犬種と飼育ポイントを解説しました。

飼いやすい犬とは？その定義と基礎知識



「飼いやすさ」の基準とは？

「飼いやすい犬」という言葉は、初心者や特定の環境で犬を飼いたいと考える人々にとって重要です。飼いやすさの基準は以下の点に基づいて定義されます。

1. 気性の穏やかさ
   初めて犬を飼う場合、攻撃性が少なく、落ち着いた性格の犬が適しています。
2. しつけのしやすさ
   飼い主の指示に従いやすい犬種は、初心者にとって扱いやすいです。
3. 手間が少ないお手入れ
   被毛の手入れや抜け毛の少なさは、忙しい人にも適した特徴です。
4. 生活環境への適応力
   マンションやアパートの室内飼育に向いているか、静かな性格であるかが重要です。

実例として、トイプードルは穏やかな性格でしつけがしやすい犬種として知られています。そのため、初めて犬を飼う家庭でも安心して迎えられるケースが多いです。

まとめとして、「飼いやすさ」の基準を知ることで、自分の生活環境やライフスタイルに合った犬種を見つけることが可能です。

初心者に適した犬種の特徴

初心者にとって適した犬種にはいくつかの共通点があります。それらの特徴を理解することで、飼育の負担を軽減しやすくなります。

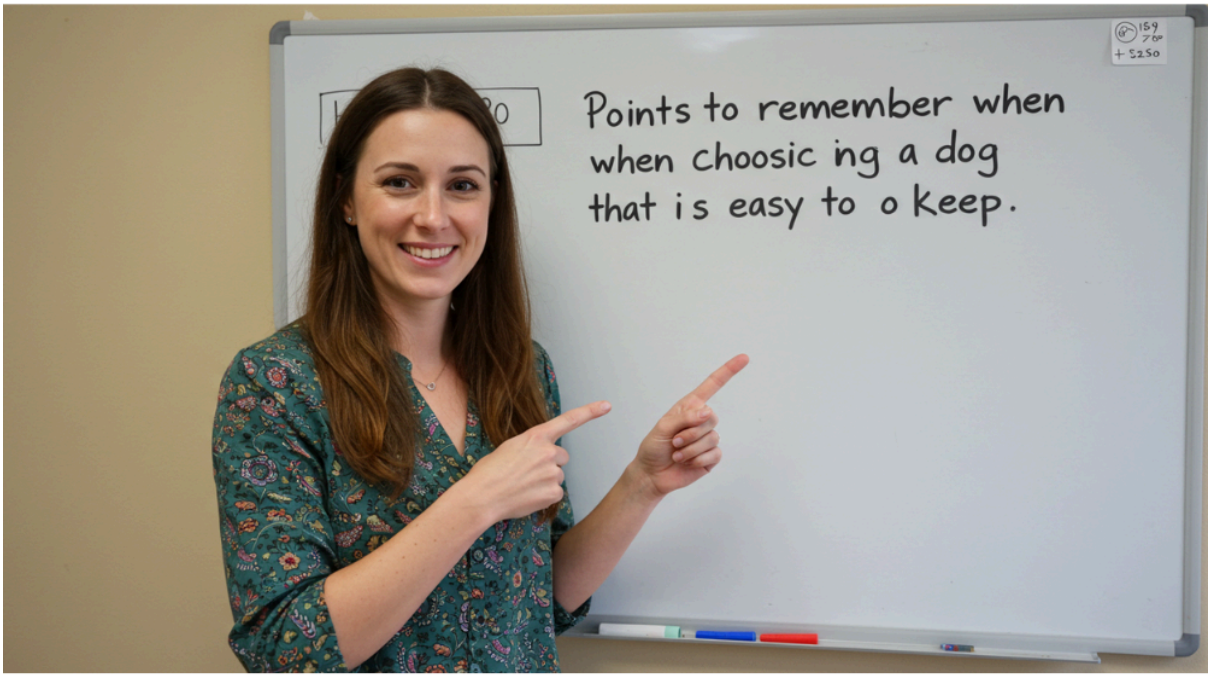
1. しつけのしやすさ
   知能が高く、人の指示を理解する能力が高い犬は、トレーニングがスムーズです。
2. 人懐っこい性格
   家族や他の動物に友好的で、人とのふれあいを楽しむ犬種は飼いやすいです。
3. 健康で手間が少ない
   遺伝的に健康で、定期的な運動と基本的なケアで満足する犬種が理想的です。
4. 環境適応能力
   初心者が飼育する場合、過剰な運動量を必要としない犬種が適しています。

データによれば、日本国内で飼いやすいとされる犬種ランキングの上位に入るのは、トイプードルやチワワのような小型犬が多いです。これらの犬は初心者向けの性質を多く持ち、また環境適応能力が高い点で評価されています。

例えば、キャバリア・キング・チャールズ・スパニエルは穏やかな性格と親しみやすさで知られ、マンション暮らしでも問題なく過ごせる犬種として人気です。

初心者が犬を選ぶ際には、上記の特徴を考慮することで、快適な犬との生活をスタートできます。

飼いやすい犬を選ぶためのポイント



気性や性格

犬を選ぶ際、性格や気性は重要です。特に初心者には、穏やかで社交的な犬が適しているでしょう。攻撃性が低く、人との関わりを楽しむ性格は飼いやすさに直結します。例えば、キャバリア・キング・チャールズ・スパニエルは、愛情深く落ち着いた気質を持ち、初心者でも扱いやすいとされています。

お手入れの手間

被毛の種類や抜け毛の量も選ぶ際のポイントです。トイプードルのようなシングルコートの犬種は、抜け毛が少なく手入れが簡単です。ただし、定期的なトリミングが必要な場合もあるため、その時間と費用を考慮する必要があります。

さらに、ブラッシングが少なくて済む短毛種も初心者におすすめです。例えば、フレンチブルドッグは短毛種で手入れが簡単なため、忙しい家庭でも飼いやすいとされています。

散歩などの必要な運動量

犬種によって運動量の必要性は異なります。運動量が多い犬種は、毎日の散歩や活発な運動が欠かせません。逆に、ポメラニアンのような小型犬は、少ない運動量でも健康を維持できます。これにより、日中忙しい家庭でも無理なく飼育が可能です。

動物行動学の研究では、適度な運動がストレス軽減と健康維持に寄与することが示されています。そのため、犬種ごとの運動習慣を理解しておくことが大切です。

吠えにくさ、声のボリューム

吠え声が少ない犬は、近隣トラブルを防ぎやすいという利点があります。例えば、シーズーは比較的静かな犬種で、集合住宅でも安心して飼えます。また、必要な場面でのみ吠える傾向があるため、初心者にとって扱いやすい選択肢です。

実例として、ある飼い主はシーズーを飼うことで、初めての飼育でも周囲との摩擦なく快適に過ごせたと報告しています。

しつけのしやすさ

犬のしつけがしやすいかどうかも、選ぶ上での重要な要素です。トイプードルは、知能が高く指示を理解しやすいため、トイレトレーニングや基本的なしつけがスムーズに進みます。初心者が最初の成功体験を得やすい犬種です。

データによれば、しつけのしやすさが高い犬種は、飼い主との信頼関係が築きやすく、問題行動の発生率も低いことが示されています。

費用面や病気のリスク

飼育にかかる費用や健康リスクも考慮しましょう。パグのように体が丈夫で病気の発症リスクが低い犬種は、医療費が抑えられるため、初心者に適しています。ただし、短頭種は呼吸器系の問題を抱える場合があるため、定期的な健康診断が必要です。

また、ペットフードや日用品のコストも計算に入れることが重要です。具体例として、フレンチブルドッグの飼い主は、月々の平均飼育費用が1万円程度だったと報告しています。

留守番に対する得意不得意

留守番が得意な犬種は、日中家を空ける時間が長い家庭に適しています。例えば、マルチーズは人懐っこさと独立性を併せ持つため、長時間の留守番にも比較的耐えられます。

動物福祉の研究では、留守番のストレスを軽減するために、適切な環境とトレーニングが必要とされています。マルチーズのような適応力のある犬種を選べば、初心者でも安心して飼育を始められます。

初心者向けにおすすめの飼いやすい犬種10選



トイプードル



トイプードルはしつけのしやすさと愛らしさで初心者に人気です。知能が高く、指示を理解しやすいため、トレーニングがスムーズに進みます。さらに、被毛が抜けにくくアレルギーのリスクが少ないという特徴もあります。例えば、初めて飼育する家庭でも、トイプードルの穏やかな性格と適応力により楽しく生活をスタートできたとの報告があります。

ミニチュアダックスフンド



ミニチュアダックスフンドは活発で好奇心旺盛な犬種です。小型ながらエネルギッシュで、家庭に活気をもたらします。日本のペットフード協会の調査でも人気が高く、特にアクティブな家庭で選ばれる傾向があります。飼い主が楽しむ散歩や遊びのパートナーとして最適です。

チワワ



チワワは体が小さく、限られたスペースでの生活に適しています。少ない運動量でも健康を維持でき、初心者や忙しい家庭でも無理なく飼育できます。狭い部屋でも問題なく飼えるため、都市部の住環境にも適しています。

ヨークシャーテリア



ヨークシャーテリアは好奇心が強く、飼い主との関係を築くのを楽しむ犬種です。抜け毛が少なく、アレルギーの心配が少ないため、手入れがしやすい特徴があります。初心者でも扱いやすく、適切なケアを行えば快適な生活を送れます。

ポメラニアン



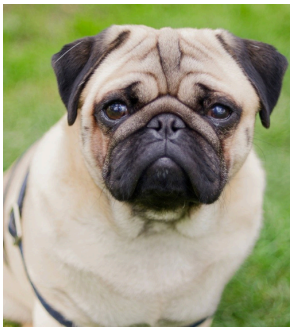
ポメラニアンはふわふわの毛と活発な性格が魅力です。適度な運動で満足するため、飼育の負担が軽減されます。飼い主と一緒に遊ぶことを好むため、家族全員が関わりやすい犬種として評価されています。

マルチーズ



マルチーズは落ち着いた性格と人懐っこい性格を持っています。飼育がしやすく、静かな家庭環境に適しています。初心者が初めて飼育する際にも、愛情深い性格からストレスの少ない飼育が可能です。

パグ



パグは無駄吠えが少なく、穏やかな性格が特徴です。室内飼育に適しており、集合住宅でも飼いやすい点が支持されています。初心者でも飼育しやすいとされ、家庭で安心して過ごせる犬種です。

キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル



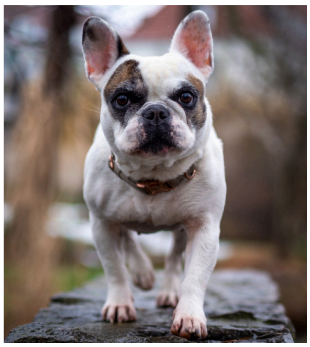
キャバリアは優しい性格と高い社会性が特徴です。他のペットや子供とも良好な関係を築けるため、多様な家庭環境に適応します。初心者でも、落ち着いた性格のため扱いやすい犬種として知られています。

シーズー



シーズーは穏やかで静かな犬種です。無駄吠えが少なく、初心者が安心して飼育を始められる点が評価されています。トリミングを行うことで被毛の手入れも簡単になります。

フレンチブルドッグ



フレンチブルドッグは短毛種で、手入れが簡単な特徴があります。適度な運動で健康を維持できるため、忙しい家庭でも飼育可能です。室内活動が中心で、共働き家庭にも適しています。

初心者に適した飼育環境の作り方



室内で飼いやすい条件

犬を室内で飼育する場合、快適で安全な環境を整えることが重要です。適切なスペースの確保と清潔な環境維持が基本となります。床が滑りやすい場合には、滑り止めマットを敷くことで足腰への負担を軽減できます。また、温度や湿度の管理も大切です。夏はエアコン、冬は暖房器具を活用して快適な室温を保つことが求められます。

必要なアイテムの準備

犬を迎える際には、必要なアイテムを事前に揃えておくことが大切です。以下のようなものが基本的な準備品です。

- ケージ：犬が安心して過ごせるスペースを提供するために必要です。
- 食器：水とフード用の容器を用意します。
- トイレ用品：トイレトレーニング用のシートやトレーが必要です。
- ベッド：快適に休める柔らかいマットやベッドを選びます。
- おもちゃ：ストレス解消や噛む癖を抑えるために役立ちます。

これらのアイテムを揃えることで、犬も飼い主も快適な生活を始められます。

犬の居場所やケージの設置ポイント

犬の居場所は、家族との適度な距離感を保てる場所が理想です。ケージを設置する際は、直射日光や冷暖房の風が直接当たらない場所を選びます。また、家庭内の騒音が少ない場所に置くことで、犬がリラックスしやすくなります。ケージ内には、柔らかい敷物やお気に入りのおもちゃを入れて居心地を良くします。

危険物の片付けと安全対策

室内での事故を防ぐために、危険物はあらかじめ片付けておきます。以下の点に注意が必要です。

- 電気コード：噛まれる可能性があるため、隠すか専用カバーを使用します。
- 小さな物：飲み込む恐れがある物は手の届かない場所に置きます。
- 観葉植物：犬に有害な種類があるため、事前に確認して移動します。
- 化学製品：洗剤や薬品類は必ず安全な収納場所に保管します。

これらの対策を徹底することで、犬が安全に過ごせる環境を作ることができます。

初心者でもできる犬のしつけのコツ



子犬期の社会化をしっかり行う

子犬が成犬になったときの性格や行動は、子犬期の経験が大きく影響します。この時期に、さまざまな環境や人、他の動物に慣れさせることが重要です。犬が安心して生活できるように、他の犬や新しい場所、人との交流を徐々に増やします。これにより、成犬になっても社会性が高く、人や他の動物と調和して生活できます。

褒めながらのしつけ方法

犬をしつける際には、罰ではなく褒めることを重視します。褒めるタイミングは、犬が正しい行動を取った直後が効果的です。例えば、お座りができたときにおやつや声で褒めることで、犬はその行動を繰り返そうとします。ポジティブなフィードバックを与えることで、犬は飼い主との信頼関係を深めながら学んでいきます。

トイレや無駄吠え対策

トイレトレーニングでは、一貫性が大切です。決まった時間に決まった場所でトイレをさせることで、犬は自然と習慣化します。失敗したときに叱らず、成功したときにしっかり褒めるようにします。無駄吠えの対策としては、吠える原因を特定し、それを取り除くか適切な対応をすることが必要です。例えば、来客に対して吠える場合には、事前におもちゃやおやつを与えて注意を逸らす方法が有効です。

留守番を上手にさせるコツ

留守番が苦手な犬には、少しずつ慣らしていくことが大切です。最初は短時間だけ部屋を離れ、その後徐々に時間を延ばしていきます。帰宅時に過度に犬を喜ばせる行動を控えることで、留守番が特別な出来事ではないと認識させられます。また、おもちゃやコングに詰めたおやつを与えることで、留守中のストレスを軽減できます。適切に留守番の練習を行えば、犬も安心して飼い主の不在時間を過ごせるようになります。

過剰な甘やかしを避けるコツ

犬を育てる際には、しっかりとしたルールを設けることが重要です。過剰に甘やかすと、犬が自分の行動を制御しづらくなる可能性があります。例えば、テーブルから食べ物を与えたり、常に要求に応えたりすると、わがままな行動が定着してしまうことがあります。一貫性のあるしつけを行い、適切な行動を促すことで、犬は安心して生活できます。褒めるタイミングを工夫し、正しい行動を強化することが、犬との良好な関係を築くポイントです。

室内犬のための快適なお部屋作り



適切な温度・湿度管理

室内犬の健康を保つためには、快適な温度と湿度の管理が重要です。犬は人間と異なり、汗をかいて体温を調節することができません。夏場はエアコンを使い、25〜28度を目安に設定します。湿度が高いと熱中症のリスクが高まるため、除湿器やエアコンの除湿機能を活用して50〜60%程度に保ちます。一方、冬場は適度な暖房で20〜22度を維持し、乾燥を防ぐために加湿器を利用して40〜60%の湿度を目指します。これらの調整により、犬が快適に過ごせる環境を整えられます。

滑り防止のマットや柵の活用

室内での安全対策として、床に滑り防止のマットを敷くことが推奨されます。特にフローリングの床は、犬が滑りやすく足腰を痛める原因になります。滑り止めマットを使用することで、歩行時の負担を軽減できます。また、柵を活用して犬が特定のエリアに留まるようにすることで、危険な物への接触を防ぐことが可能です。キッチンや階段など、事故が起きやすい場所には柵を設置し、犬が安全に過ごせる環境を作ります。

散歩後のケア方法

散歩から帰宅した後は、犬の体をしっかりとケアすることが必要です。特に足裏は、散歩中に付着した汚れや雑菌を取り除くために洗浄し、タオルで乾かします。また、長毛種の犬は、体全体をブラッシングして葉やゴミを取り除きます。散歩中にダニやノミが付着する可能性があるため、専用のスプレーやシャンプーを使って予防することも効果的です。これにより、犬が清潔で健康的な状態を保つことができます。

飼いやすさに関するよくある質問



メスとオス、どちらが飼いやすい？

犬を選ぶ際に、メスとオスのどちらが飼いやすいかを考えることは重要です。一般的に、メスは性格が穏やかで、攻撃性が低い傾向があります。一方、オスは活発で遊び好きな性格を持つ場合が多いです。ただし、個体差があるため、一概には言えません。また、避妊手術や去勢手術を行うことで性格や行動が落ち着くケースも多く、これにより飼いやすさが向上します。

大型犬と小型犬、どちらが初心者向き？

初心者には小型犬が向いていると言われています。その理由は、小型犬は必要な運動量が少なく、食事やトリミングにかかる費用も比較的少ないからです。一方、大型犬は広い飼育スペースや十分な運動が必要で、初心者には負担が大きい場合があります。ただし、大型犬の中には穏やかで初心者に向いている種類も存在します。犬種ごとの特徴をしっかり理解したうえで選ぶことが大切です。

動物病院の利用ポイント

犬を健康に育てるためには、動物病院の利用が欠かせません。特に初心者の場合、動物病院の選び方や活用方法を知ることが大切です。
まず、動物病院を選ぶ際は、以下のポイントを確認してください。
1.診察の幅広さ
　総合診療を提供する病院を選ぶと安心です．す。一般診療だけでなく、予防接種や緊急時の対応も行っているか確認しましょう。
2.スタッフの対応
　す．親切で丁寧な説明を行ってくれるスタッフがいる病院を選びましょう。信頼できるかどうかは初回の訪問で判断できます。
3.立地と営業時間
自宅から近く、緊急時に対応できる時間帯に営業しているかが重要です。特に夜間診療の有無をチェックしてください。
4.口コミや評判
地元の飼い主の口コミや評判を参考にするのも効果的です。SNSやレビューサイトで実際の利用者の声を調べましょう。

次に、動物病院の活用法として以下を心がけてください。
1.定期的な健康診断

健康診断は犬の病気を早期に発見する重要な手段です。少なくとも年に1回は受診しましょう。
2.予防接種とフィラリア予防
予防接種スケジュールを守り、フィラリアやノミ・ダニ対策を徹底することで、病気のリスクを軽減できます。
3.食事や運動の相談
体重管理や適切な食事についても相談してみてください。特に、成長期や高齢期にはアドバイスが役立ちます。
4.緊急時の対応方法
急な体調不良時には、症状を正確に伝える準備をしましょう。普段から体温や脈拍を確認する習慣をつけるとスムーズに対応できます。

実例として、ある飼い主が初めて飼ったトイプードルを動物病院に連れて行った際、健康診断で心臓の異常を早期発見し、治療を開始したことで寿命を延ばせたというケースがあります。このように、動物病院は単に病気を治す場所ではなく、犬との生活をより豊かにするためのパートナーです。

楽しい犬との生活を始めるためのアドバイス



犬との楽しい生活を始めるには、日々のコミュニケーションが欠かせません。犬は飼い主とのふれあいを通じて信頼関係を築きます。散歩はその絶好の機会であり、適切な頻度と時間を確保しましょう。小型犬の場合は1日2回、15分程度の散歩が理想的です。大型犬の場合は、1日2回、30分以上の運動を取り入れることで、ストレスや健康リスクを軽減できます。

また、褒めるタイミングを見極めることも重要です。犬が望ましい行動をしたときに褒めることで、しつけがスムーズに進みます。例えば、トイレの成功や無駄吠えを控えたときにおやつや優しい言葉で褒めると、犬はその行動を繰り返そうとします。

最後に、動物病院を信頼して積極的に利用することで、初心者でも安心して犬を飼うことができます。日々の健康管理と併せて、動物病院を上手に活用することで、愛犬との生活をより楽しいものにしていきましょう。

これらのポイントを日常生活に取り入れることで、犬と飼い主の間に深い信頼と愛情が生まれ、より充実したペットライフを楽しめるでしょう。

今回は、初心者向けの飼いやすい犬種と飼育ポイントを解説しました。



飼いやすい犬種と飼育ポイント

1. 小型犬は初心者におすすめ
2. 飼育環境に合う犬種を選ぶ
3. しつけやすさを重視する
4. 必要なアイテムを準備する
5. 日々のケアと運動を欠かさない
6. 信頼関係を大切に育む
7. 動物病院の積極的利用

犬との生活をより楽しく充実させるために、適切な準備と心構えを整えましょう。関連記事「大型犬の人気ランキング5選」もぜひ参考にしてください！